

日本腐植物質学会第 35 回講演会プログラム

会期：2019年9月18日（水）～19日（木）

会場：稚内総合文化センター 小ホール

URL：

<https://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/kyoiku/kakusyushisetsu/bunkacenter.html>

学会会場周辺の地図

稚内駅を中心としまして、学会会場、懇親会会場は徒歩圏内となっております。

- ・稚内駅 - 稚内総合文化センター（学会会場）： 徒歩 約 7 分（約 500 m）
- ・稚内駅 -（開催場所検討中）（懇親会会場）： 徒歩 約 7 分（約 500 m）
- ・稚内総合文化センター（学会会場）-（開催場所検討中）（懇親会会場）：徒歩 約 11 分（約 900 m）



↓
至
南稚内駅

大会日程

9月18日 (水)	12:30~13:15	受付
	13:15~13:20	開会挨拶
	13:20~14:00	特別講演
	14:00~14:10	休憩
	14:10~15:40	テーマ講演_2 演題
	15:40~15:50	休憩
	15:50~17:15	テーマ講演_2 演題
	17:15~17:45	総合討論
	18:30~20:30	懇親会
<hr/>		
9月19日 (木)	9:00~ 9:30	受付
	9:30~ 9:52	ポスター紹介
	10:00~10:30	ポスターセッション (コアタイム奇数番号)
	10:30~11:00	ポスターセッション (コアタイム偶数番号)
	11:05~12:05	総会
	12:05~13:05	昼食 (IHSS 日本支部総会)
	13:15~14:35	口頭発表セッション1_4 演題
	14:35~14:40	座長交代、休憩
	14:40~15:40	口頭発表セッション2_3 演題
	15:40~15:45	座長交代、休憩
	15:45~16:45	口頭発表セッション3_3 演題
	16:45~17:00	表彰式、閉会挨拶

日本腐植物質学会 第35回講演会実行委員会

事務局：上野 晃生

連絡先：〒098-3221 北海道天塩郡幌延町栄町5番地3

幌延地圏環境研究所

電話：01632-9-4112, FAX：01632-9-4113

E-mail：akio.ueno@h-rise.jp

—大会 1 日目 (9 月 18 日) —

12:30～13:15 受 付
13:15～13:20 開会挨拶
13:20～14:00 特別講演 (座長：藤嶽 暢英)

S1 「腐植物質の植物成長促進機能に関する近年の研究動向」
○渡邊彰 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

14:00～14:10 休 憩

14:10～17:45 テーマ講演 (座長：上野 晃生)

『地表と地下の有機物資源』

T1 「高密度水・炭素生態としての熱帯泥炭・湿地が握る地球システムの盛衰」

○大崎 満 (北海道大学名誉教授、日本泥炭地学会会長)

T2 「泥炭ののり面緑化基盤材としての有効利用」

○佐藤 厚子 (寒地土木研究所)

T3 「地層中の未利用有機物のメタン化に向けた幌延地圏環境研究所の取り組み」

○玉村 修司 (幌延地圏環境研究所)

T4 「天然ガスや石油の根源物質としての地下圏有機物」

○坂田 将 (産業技術総合研究所)

総合討論

18:30～20:30 懇親会 (サフィールホテル稚内→予算の関係上、変更の可能性ありのため、開催場所は検討中です。決定次第ご連絡いたします)

—大会2日目(9月19日)—

9:00~ 9:30 受付
9:30~ 9:52 ポスター紹介 (座長: 加藤 拓)
ポスター紹介は講演番号順に1人2分間(次演者との交代時間含む)(パワーポイント1枚)で行います。

10:00~11:00 ポスターセッション
コアタイムは奇数番号: 10:00~10:30、偶数番号: 10:30~11:00です。
ポスターは講演会終了時まで掲示をお願いします。

- P1 「ダム底泥抽出有機物のイネに対する生育効果の検討」
○三宅 一輝¹、鳥越 裕太¹、厨子 圭介²、兒玉 宏樹³(¹佐賀大学大学院工学系研究科、²厨子農園、³総合分析実験センター)
- P2 「ため池水中の溶存有機物: 内部負荷の影響」
○眞家 永光¹、中村 博祐¹、田中 由香子¹、大野 達也²、東 淳樹²、嶋 栄吉¹(¹北里大学獣医学部、²岩手大学農学部)
- P3 「高等植物非存在下の南極土壌における腐植特性」
○高垣 彩咲子¹、加藤 拓²、近藤 美由紀³、田邊 優貴子⁴、林 健太郎⁵、木田 森丸¹、工藤 栄⁴、藤嶽 暢英¹(¹神戸大学大学院農学研究科、²東京農業大学、³国立環境研究所、⁴国立極地研究所、⁵農研機構)
- P4 「溶出挙動の異なる土壌フルボ酸の分布と構造特性の評価」
○池川 誉稀¹、中田 弘太郎²、兒玉 宏樹³(¹佐賀大学大学院工学系研究科、²電力中央研究所、³総合分析実験センター)
- P5 「TMAH-Py-GC/MS を用いた琵琶湖底質中有機物の熱分解挙動評価」
○布施 泰朗¹、初 雪^{1, 2}(¹京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科、²株式会社島津製作所)
- P6 「ゲル電気泳動法を基盤とするフミン酸結合型アクチノイドイオンの分子量分布評価」
○原賀 智子¹、丸茂 和樹²、齊藤 拓巳³、渋谷 雅美²、齋藤 伸吾²(¹日本原子力研究開発機構、²埼玉大学大学院理工学研究科、³東京大学大学院工学系研究科)
- P7 「腐植酸の褪色におよぼすアルミニウム複合体形成の影響」
○柳 由貴子¹、井手 綾香²、安本 達矢²
(¹山口大学 大学院創成科学研究科、²山口大学 農学部)
- P8 「ゲル電気泳動分離を基盤とする幌延地下水フミン酸結合型テルビウム(III)の分子量分布評価」

○中野 純佳¹、風見 綸汰郎¹、丸茂 和樹²、半田 友衣子²、齊藤 拓巳³、
澁川 雅美²、齋藤 伸吾² (1 埼玉大学 工学部応用化学科、2 埼玉大学 大学院
理工学研究科、3 東京大学 大学院工学系研究科)

P9 「イネの生育効果に寄与するダム底泥有機物の特性評価」

○鳥越 裕太¹、三宅 一輝¹、厨子 圭介²、兒玉 宏樹³ (1 佐賀大学大学院
工学系研究科、2 厨子農園、3 総合分析実験センター)

P10 「PEI-ガラスフィルターによる腐植物質と会合した多環芳香族炭化水素の
膜分離」

○岩井 久典¹、Rodrigo Jose Mundo¹、松中 哲也¹、長尾 誠也¹ (1 金沢大
学 低レベル放射線実験施設)

P11 「模擬土壌有機物によるカルシウムシリケート水和物の生成阻害」

○戸田 賀奈子^{1,2}、大竹 翼³、佐藤 努³ (1 北海道大学大学院工学院・日本学術
振興会特別研究員 DC、2 北海道大学大学院工学院、3 北海道大学大学院工学研究院)

11:05~12:05 総会

12:05~13:15 昼食

13:15～14:35 口頭発表セッション1 (座長：眞家 永光)

- O1 「溶存腐植様物質の生成・分解過程の紫外可視分光追跡と速度論的解析」
○中屋 佑紀^{1,2}、中嶋 悟¹、大塚 高弘¹ (1大阪大学大学院理学研究科、²日本学術振興会特別研究員 PD)
- O2 「東南極ラングホブデ露岩域の河川流下過程における溶存有機物の変動」
○小島 汰一¹、木田 森丸¹、田邊 優貴子^{2,3}、林 健太郎⁴、工藤 栄^{2,3}、
藤嶽 暢英¹ (1神戸大学大学院 農学研究科、²国立極地研究所、³総合研究大学院大学、⁴農研機構・農業環境変動研究センター)
- O3 「TMAH-Py-GC/MS を用いた腐植物質の熱分解挙動の温度依存性評価」
○初 雪^{1,2}、布施 泰朗¹ (1京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科、²株式会社島津製作所)
- O4 「各種土壌および河川水から分離したフルボ酸の添加がアオサの成長に及ぼす影響」
○今飯田 枝里¹、吉田 吾郎²、渡邊 彰¹ (1名古屋大学大学院生命農学研究科、
²水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所)

14:35～14:40 座長交代、休憩

14:40～15:40 口頭発表セッション2 (座長：齋藤 伸吾)

- O5 「ガラスビーズ充填層を通過するカルシウムイオン共存下でのフミン酸の破過曲線」
○山下 祐司 (筑波大学)
- O6 「Eu³⁺と地下水中溶存有機物との錯生成モデリング」
○寺島 元基¹、斉藤 拓巳²、赤木 洋介³、遠藤 貴志⁴ (1日本原子力研究開発機構、²東京大学、³三菱マテリアル、⁴日本原燃分析)
- O7 「神奈川県内農耕地における溶存腐植物質の化学的特徴」
○加藤 拓 (東京農業大学)

15:40～15:50 座長交代、休憩

15:50～16:50 口頭発表セッション3 (座長：飯村 康夫)

- O8 「熱的支援加水分解およびメチル化 GC/MS による土壌フルボ酸およびヒューミンの構造成分解析」
○渡邊 彰、今飯田 枝理、池谷 康祐 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

- O9 「滴定三次元蛍光測定を用いる起源の異なるフルボ酸試料の評価手法の検討」
- 児玉 宏樹¹、池川 誉稀²、溝口 拓人²、鳥井 翼²、廣松 将平²、中田 弘太郎³ (¹佐賀大学 総合分析実験センター、²佐賀大学 理工学部、³電力中央研究所)
- O10 「高速液体クロマトグラフィーによる土壌フルボ酸と湖水フルボ酸の構成成分の比較」
- 青山 正和¹、前田 和輝、入戸野 理 (弘前大学 農学生命科学部)